

# 多治見西高生 全国選手権で初優勝



優勝を喜ぶ(後列左から時計回りに)小栗さん、才さん、坂崎さん、井川原さん、奥村さん、山本さん、瀬口さん。多治見市の多治見西高で

# 模擬裁判 実演交え熱弁

高校生が模擬裁判で論理性や多角的な視点を競う高校生模擬裁判選手権で、多治見西高校二、三年生のチームが初優勝した。生徒たちは「まさか優勝できるよは」と喜ぶ。(片岡典子)

模擬裁判では、架空の事件を題材に、各校が事前に用意した弁護側の弁論や検察側の論告を発表。その論理性や視点の多様さ、発表の分かりやすさなどを競う。日本弁護士連合会が例年八月に地方ごと

## 論告論理的に書き上げ

ループに分かれてそれぞれで優勝校を決めた。

多治見西高校の出場は二回目。今年も田山地範幸講師(六)の呼び掛けに応じた。二、三年のオ・ジミンさん(心)、瀬口結惟さん(心)、奥村芽生子さん(心)、小栗悠暉さん(心)、山本結鈴さん(心)、井川原和さん(心)と三年、坂崎翔さん(心)が参加した。

題材は、女性が幼なじみの男性を口論の末に押し倒しけがさせたという設定の傷害事件。被告人の女性は「男性に首を絞められ弾みで倒した」などと話し、その信ぴょう性と正当防衛が成立するかが争点だった。

生徒たちは十一月末から、供述調書や捜査報告書をまとめた五十ページほどの冊子を読み込んだ。関係者の証言を時系列でまとめ直したり、安全に注意しながら事件の状況を再現したりして、弁論と論告をそれぞれ二千文字程度で書き上げた。

当日は検察役で論告を発表



## 美術品 高価買受

(秘密厳守)

版画 絵画 掛軸 陶器

無料査定 出張いたします 売るのも買うのも何でもご相談下さい

株式会社 光陽社 0120 14-5448 岐阜市本荘中ノ町10丁目37-3 (県美術館東へ200m)

## 記者のつぶやき

同校では例年、授業で模擬裁判をしています。今回の出場者には、昨年の授業の取材で、私に話を聞かせてくれた生徒もおり、うれしいニュースでの再会に幸せな気持ちになりました。

